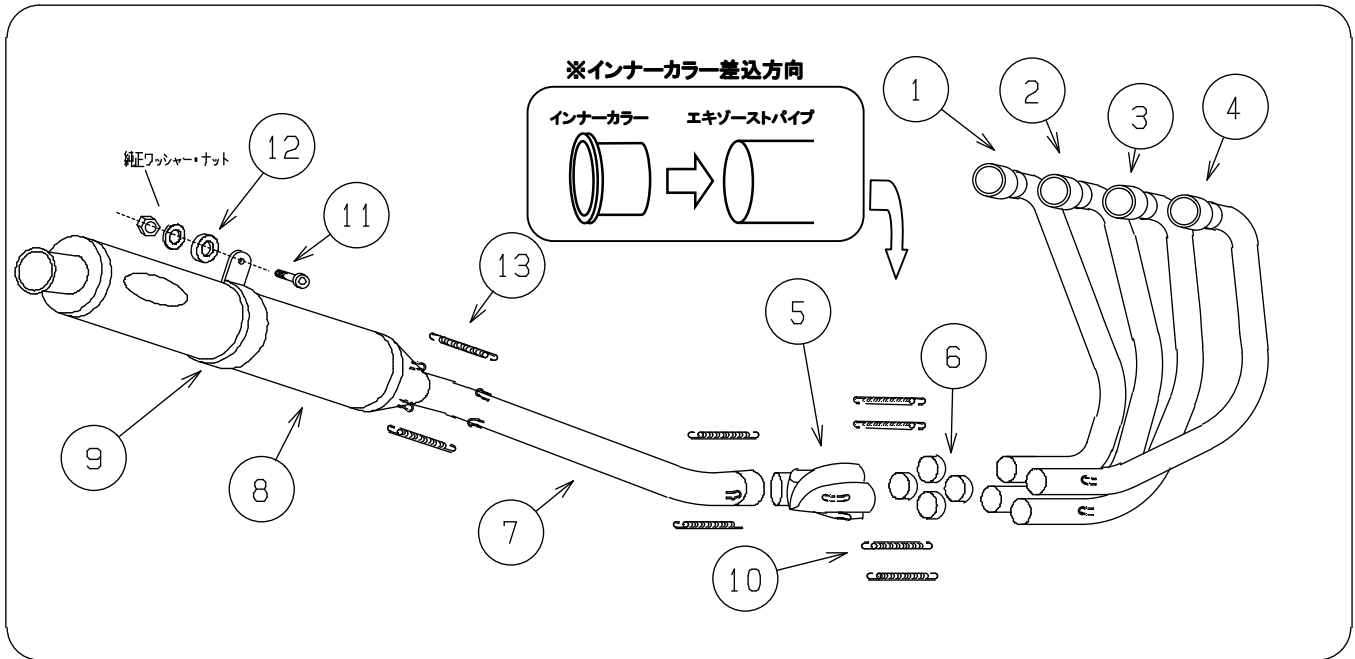


この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカーサービスマニュアルとこの説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。
適合車種は、ZEPHYR1100 用 となっております。
その他の機種には取り付けられませんのでご注意下さい。
取り付け作業に、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1 スタンダードマフラーをとりはずします。

まず、スタンダードマフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用します。

まず、エキパイのフランジ部のナットとテールパイプステー部2ヶ所のボルト、ナットを外し、スタンダードマフラーを取り外して下さい。また、ガスケットを点検し、損傷のある場合は、新品に交換して下さい。

2 マフラーを取り付けます。

a センタースタンドストッパーの取り付け

左側のセンタースタンドのボルトを外し、ボルトを抜いた位置に付属の鉄カラーを挿入し、ストッパーを右下の写真のようにとりつけ、付属の M10x50L のボルトで締め付けます。

b エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

エキゾーストパイプにフランジの向きを注意して(裏面図参照)組み立て、エンジンにエキゾーストパイプ No1, No2, No3, No4 を取り付けます。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けしたパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。

(※①～④の識別シールは装着後では剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。続いて取り付けるスパイラルコレクター部分も同様に行ってください。)

	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ No 1	1
2	エキゾーストパイプ No 2	1
3	エキゾーストパイプ No 3	1
4	エキゾーストパイプ No 4	1
5	スパイラルコレクター(SC)	1
6	インナーカラー	4
7	テールパイプ	1
8	サイレンサー	1
9	サイレンサーバンド(帯ゴム付)	1
10	スプリング	8
11	ボルト M10x75L	1
12	アルミカラー 22L	1
13	センタースタンドストッパー	1
14	ボルト M10x50L	1
15	鉄カラー	1



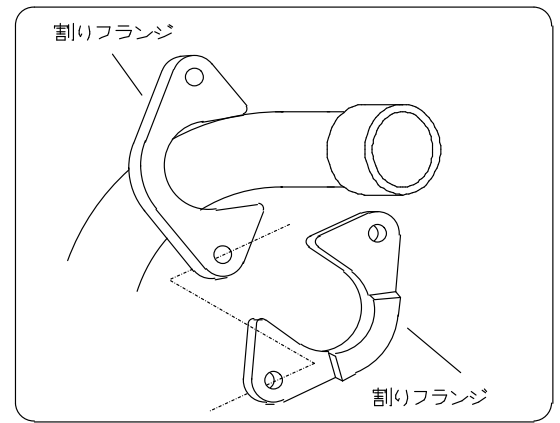
c テールパイプの取り付け

No1~4の各エキゾーストパイプにインナーカラーを挿入します。(※インナーカラーは性能確保の上で大変重要です。必ずエキゾーストパイプに取り付けてください。)

次にスパイラルコレクター(以下SC)の差込部内側にシリコンボンド等を薄く塗布し、SCをエキゾーストパイプの番号に合わせて差し込みます。入りにくい場合はプラスチックハンマーなどで、エキゾーストパイプを前方向からキズを付けないように注意して、軽く叩いて下さい。

テールパイプの差込部内側にシリコンボンド等を塗布し、SCへ差し込みます。

最後にSCとエキゾーストパイプ部(4本)、SCとテールパイプ(2本)にスプリングを掛けます。



d サイレンサーの取り付け

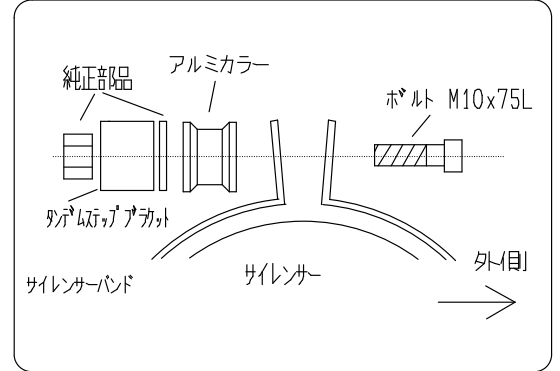
テールパイプにサイレンサーを差し込み、サイレンサーとテールパイプにスプリングを掛けます。次にタンデムステップブラケットに付属のアルミカラーを介してサイレンサーバンドを取り付けます。(右図参照)

e 最終取り付け

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。

この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のボルトは均等に締め込んで下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意ください。

最後にサイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めしてください。



3 最終確認

以上で作業は終了です。識別シールを剥がしマフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。

4 キャブレターセッティングについて

ファサームマフラーは、すべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されております。従ってキャブレターのジェットの変更等、必要はありません。

△ 注

- グラスウールは消耗品です。グラスウールの量が少ない状態で走行するとサイレンサーの故障につながる場合があります。当社にてグラスウール交換も行っております。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品はJMCAの認定を受けております。車検時は同梱の認定カード及び排出ガス試験成績書の提出により、車検を受けることが可能です。但しグラスウールの消耗等により音量が大きくなった場合、サイレンサーの修理が必要です。弊社にてグラスウールの交換を行います(有償)のでお近くの販売店までご依頼ください。

事故や転倒による修理につきましては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他、マフラー、オートバイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL 059 (378)3505 FAX 059 (370)7811